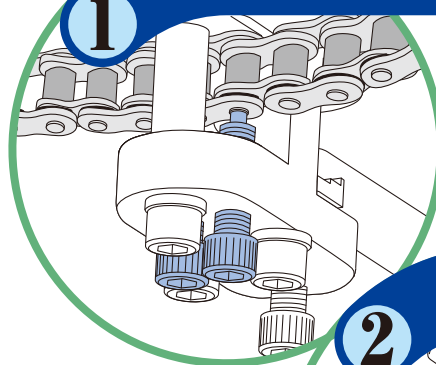


GUARD

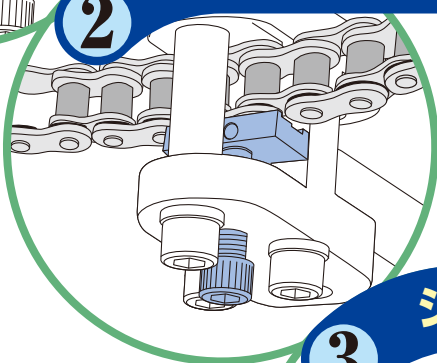
3つの作業が
これ1台でOK!

この台紙は三つ折りになっています
中面は詳しい取扱説明書になっています。ご使用前には、必ず中面をすべてお読みいただき、お読みになった後は大切に保存し、必要な時にお読みください。

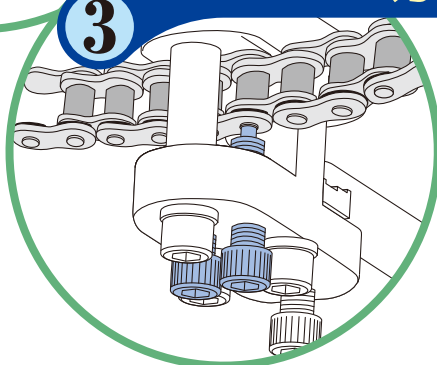
1 チェーンのカット



2 プレートの圧入



3 ジョイントのカシメ



- 一般品に比べ、小さな力で作業できます!
- 取扱説明書付きで初めての方でも安心・簡単!
- 使いやすいロングタイプの六角レンチ付!

作業時間短縮
機能的で使いやすい本体と大型のハンドル・六角レンチで扱いやすく確実に作業できます。

使いやすさ抜群

ご注意

- ※クリップジョイントを使用する場合は、別売の専用ガイドプレートが必要です。詳しくは販売店またはメーカーにお問い合わせください。
- 落下させると変形、故障の原因となりますのでご注意ください。
- 工具は付属の収納袋に入れてなくさないように保管してください。
- 商品を分解、改造したり他の目的には使用しないでください。
- 商品改良のため、予告なく仕様変更する場合があります。

こだわり設計で社会に貢献する

株式会社ガードロック

〒561-0893 大阪府豊中市宝山町22-44
TEL.06-6152-1830(代)

<http://www.guardlock.co.jp>

品質表示

本体：特殊合金製、塗装仕上げ
ボルト：SCM435、黒色亜鉛処理
ハンドル：アルミ、アルマイト黒仕上げ
六角レンチ：鋼、黒色酸化皮膜

No.700NBK



台紙



プラスチック:PET

GUARD

520・525・530・532 専用

Perfect
CHAIN TOOL



機能性を追求! 使いやすく作業時間短縮!

3IN1

チェーンカット
プレート圧入
ジョイントのカシメ



しっかり握れる大きめハンドルで作業らくらく!

**プロも
納得の耐久性!**

特許出願済

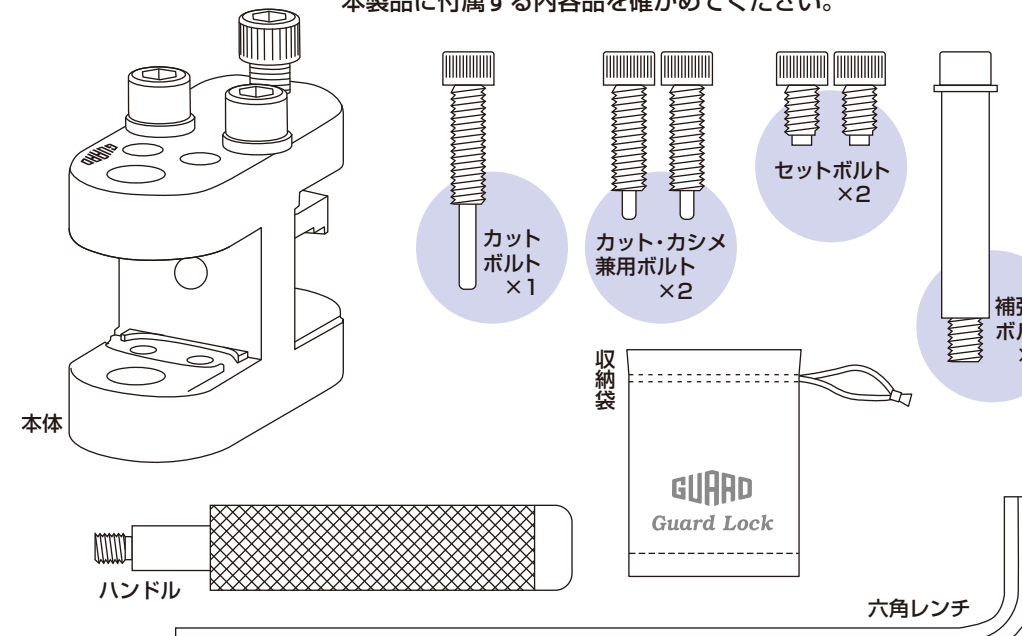
収納袋付

大型六角レンチ付

Guard Lock Co., Ltd.

内容品の確認

本製品に付属する内容品を確かめてください。

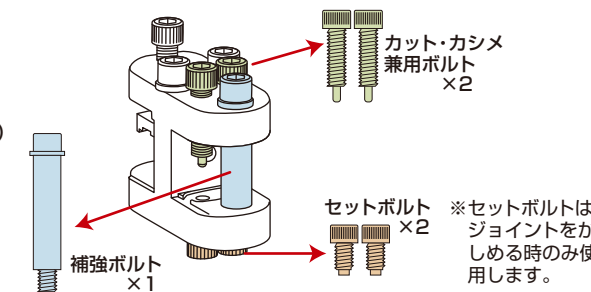


※ボルト等の部品が破損・紛失した場合は、販売店またはメーカーにお問い合わせください。

作業を始める前に

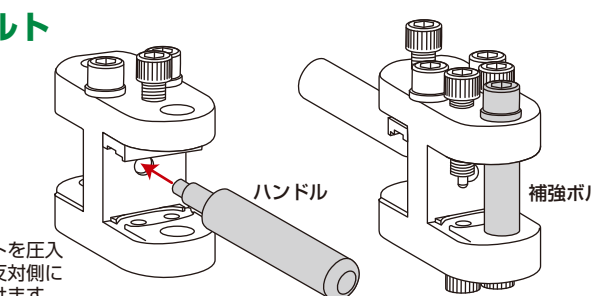
- 本体からセットボルト、補強ボルトを取りはずします。

本品出荷時は、あらかじめ本体にセットボルト(2本)、カット・カシメ兼用ボルト(2本)、補強ボルト(1本)がセットされています。作業を始める前に本体からそれらを外してください。

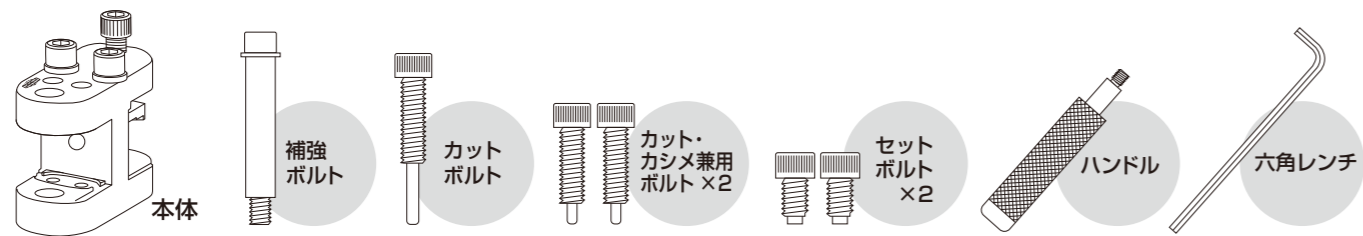


- 使用時は本体にハンドル、補強ボルトを取り付けます。

本体中央部にあるネジ穴に、ハンドルを取り付けます。大きなハンドルで作業効率がアップします。
※補強ボルトを取り付けずに作業すると、本体がゆがむことがあります。カット、圧入、カシメの作業の前に必ず、補強ボルトを締めてください。



※チェーンのプレートを圧入する際は、右図と反対側にハンドルを取り付けます。

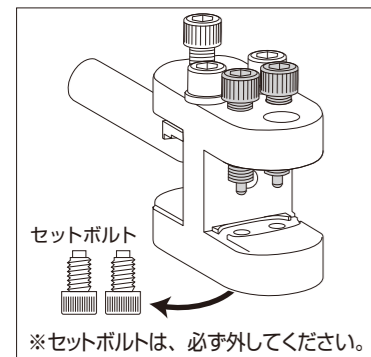


●安全のためにセンタースタンドまたは、レーシングスタンドを必ず使用してください。
●作業前に、必ずチェーンオイルなどのグリスを塗布してください。作業がしやすくなります。

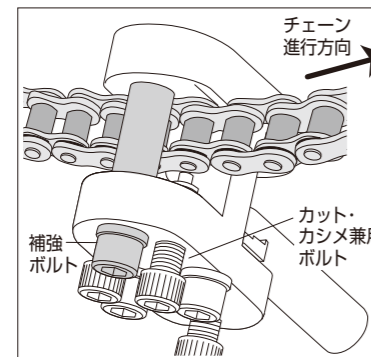
チェーンをカットする

使用するボルト ■補強ボルト(1本)
■カット・カシメ兼用ボルト(2本)
■カットボルト(1本)

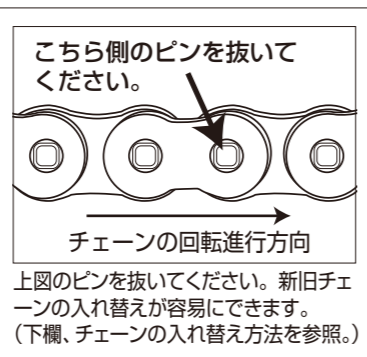
1 本体に付いているセットボルト(2本)を外します。



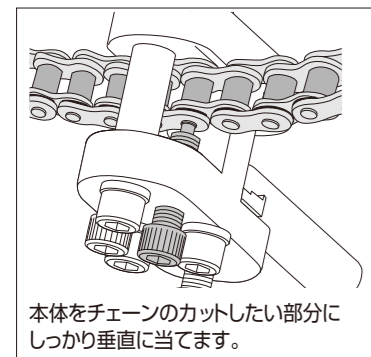
2 本体にチェーンをはさんで、補強ボルトを取り付けます。



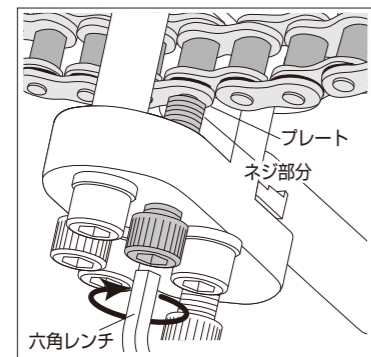
1 ピンを抜く方だけのカット・カシメ兼用ボルトを使用します。



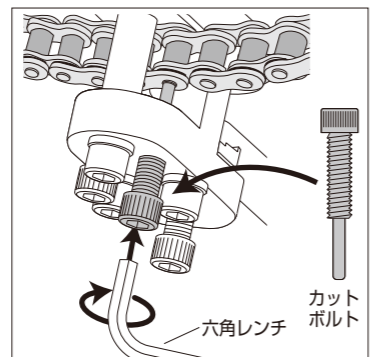
3 カット・カシメ兼用ボルトを、カットするチェーンのピンに接触するまで手で回します。



4 カット・カシメ兼用ボルトを、六角レンチで締め込みます。チェーンからピンが途中まで抜けます。



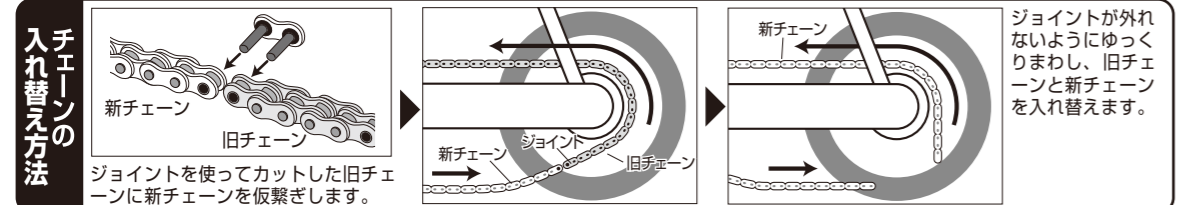
5 右側のカット・カシメ兼用ボルトを外してカットボルトをセットし、六角レンチで締め込んでピンを抜きます。



1 ボルト先端の中心部とチェーンのピンの中心部が合うように回してください。中心がずれた状態でボルトを回すと本体が変形する原因になります。

1 カット・カシメ兼用ボルトを締め込んだ際、ネジ部分がプレートに接触するギリギリの所で止めてください。

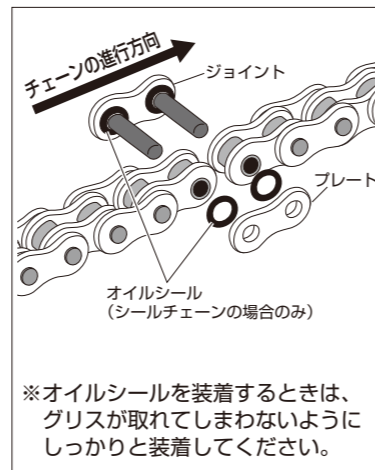
1 チェーンからピンを抜く時は必ず、初めにカット・カシメ兼用ボルトを使用してください。初めからカットボルトを使用するとカットボルトが曲がってしまいます。



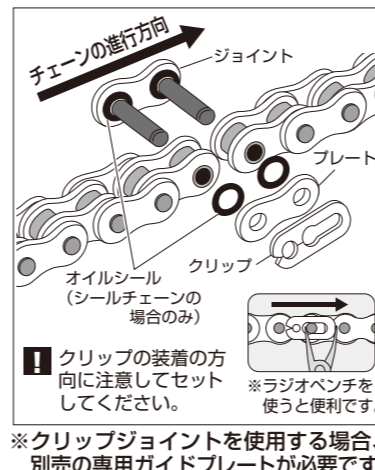
プレートを圧入する

使用するボルト ■補強ボルト(1本)
■圧入ボルト(本体と一体化しているボルト)

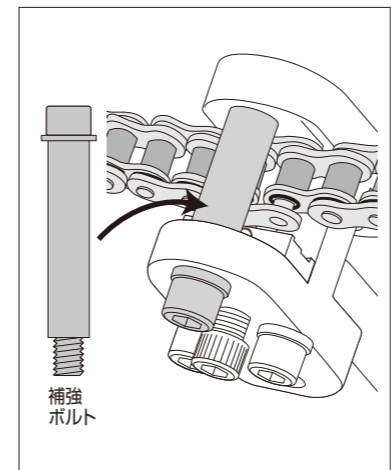
1 チェーンのジョイントを装着します。
●カシメジョイントの場合



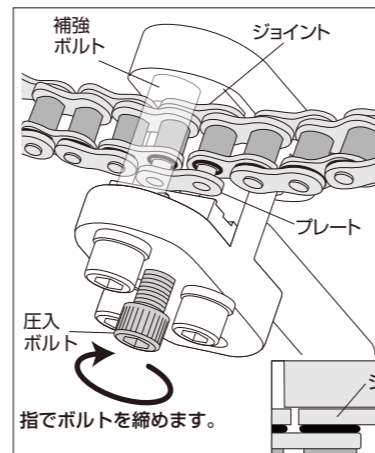
●クリップジョイントの場合



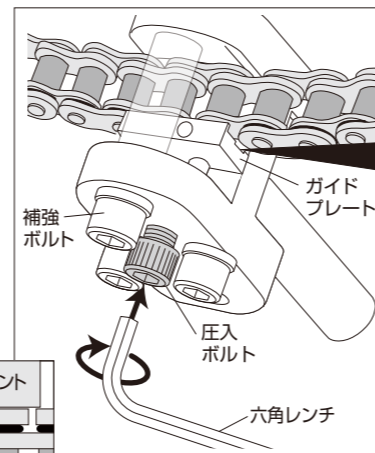
2 本体にチェーンをはさんで、補強ボルトを取り付けます。



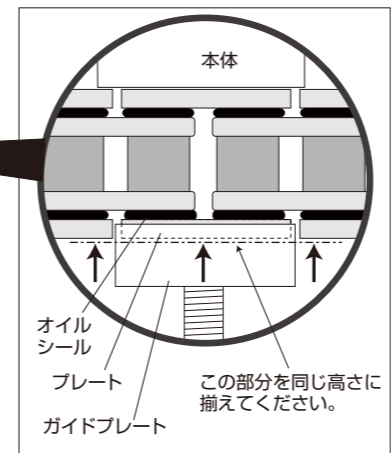
3 ジョイントを本体にセットし、指で圧入ボルトを回して仮固定します。



4 圧入ボルトを六角レンチで締め込みます。



5 プレートが隣のプレートと同じ位置まで押し込まれるまで締め込みます。

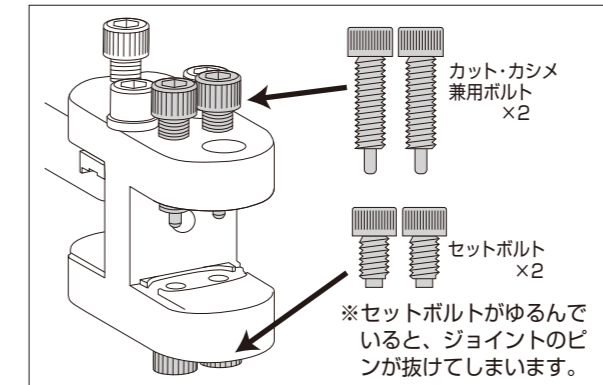


1 隣のプレートと同じ高さになるように注意しながら圧入してください。
※圧入しすぎるとチェーンの動きが悪くなるので注意してください。

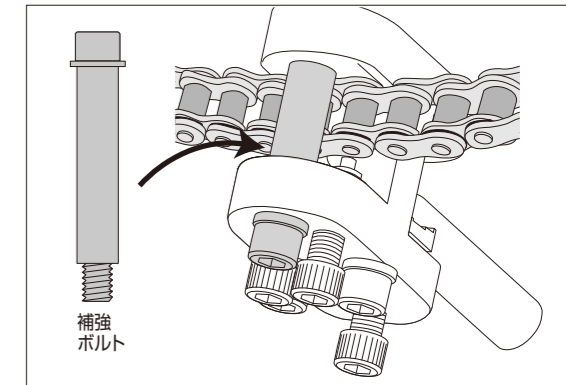
ジョイントをかしめる

使用するボルト ■補強ボルト(1本)
■カット・カシメ兼用ボルト(2本)
■セットボルト(2本)

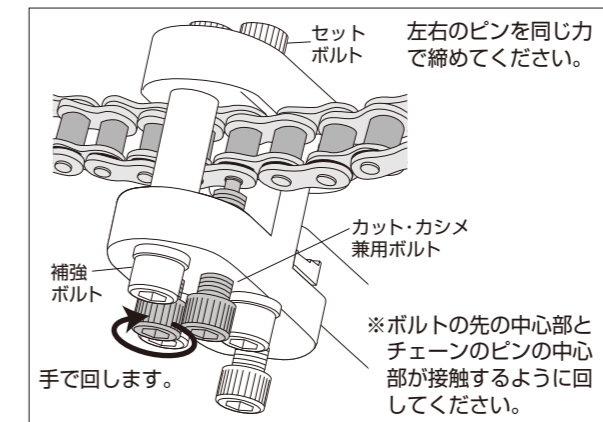
1 本体にカット・カシメ兼用ボルト(2本)、セットボルト(2本)をセットします。



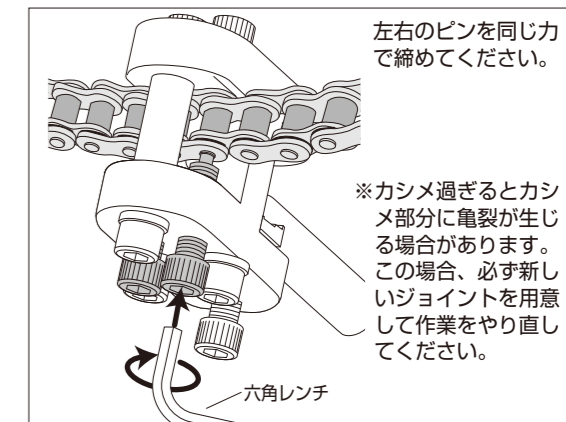
2 本体にチェーンをはさんで、補強ボルトを取り付けます。



3 ジョイントを本体にセットし、カット・カシメ兼用ボルト(2本)を、かしめるチェーンのジョイントピンに接触するまで手で回します。



4 次にカット・カシメ兼用ボルト(2本)を六角レンチで締め込んでください。
※締め込み量は別紙を参照してください。



【チェーンメーカーごとのカシメ径参考値】

○大同工業㈱

ジョイント(新品)の状態、ピンの太さを測定し、その値に0.3 プラスした値がカシメ径参考値になります。

例) $\phi 5.34$ (ピン径) + 0.3(カシメ量) = $\phi 5.64$ (カシメ径参考値)

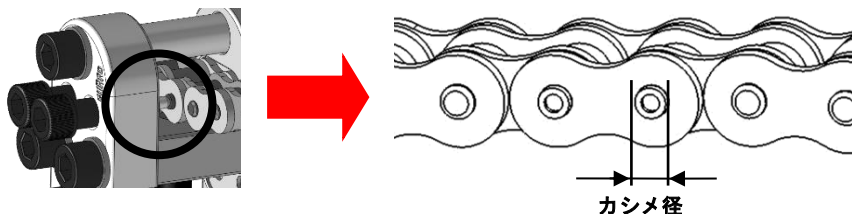
○㈱アールケー・エキセル … $\phi 5.45$

○㈱江沼チェーン製作所 … $\phi 5.70$



【カシメ径の測定方法】

- ① カットカシメ兼用ボルトを六角レンチで締め込み、ピンの先端部分をカシメて行きますが、このカシメ径をノギスで測定しながらカシメ過ぎないように注意して作業を行ってください。



- ② カシメ径が基準値になったところで、作業を終了してください。

* 参考値以上にカシメを行うと、ピンカシメ部分に亀裂など生じる場合があります。この場合、必ず新しいジョイントを用意して作業をやり直してください。

●収納袋への入れ方

・収納袋にこの向きで入れてください。

・この位置が一番きついですが入ります。

・残りの部品を入れて完了です。



●チェーンカットの注意点

チェーンカットをする時は、カットカシメ兼用ボルトで途中までチェーンのピンを抜いてから、カットボルトでピンを抜いて下さい。

* カットボルトのみでチェーンカットをすると、カットボルトが曲がったり本体のねじ山の破損原因となりますのでご注意ください。

●ご注意

ハンドルは、必ず奥まで差し込んでご使用ください。奥まで差し込まずに使用すると破損する恐れがあります。